



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場取引所 東・名

上場会社名 日本ガイシ株式会社  
 コード番号 5333 URL <https://www.ngk.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 神藤 英明 (TEL) 052-872-7230  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	83,030	△23.5	△283	—	189	△98.7	△244	—
2020年3月期第1四半期	108,510	△5.8	16,200	△15.2	15,040	△17.1	11,413	△3.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,523百万円(△38.7%) 2020年3月期第1四半期 2,486百万円(△79.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△0.77	—
2020年3月期第1四半期	35.47	35.41

(注) 2021年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	832,560	462,709	54.3
2020年3月期	833,085	469,118	55.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 452,381百万円 2020年3月期 458,551百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	△13.5	3,000	△90.5	1,500	△94.9	1,000	△95.3	3.16
通期	420,000	△5.0	30,000	△45.5	29,000	△44.2	17,000	△37.4	53.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 ( ) 、除外 — 社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	322,211,996株	2020年3月期	322,211,996株
2021年3月期1Q	5,658,321株	2020年3月期	5,668,060株
2021年3月期1Q	316,546,860株	2020年3月期1Q	321,792,662株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(その他の注記事項)	7
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により個人消費が減少したほか、企業業績が悪化しマイナス成長となりました。海外では、米国や欧州などで都市封鎖により経済活動が制限され各国経済に深刻な影響を及ぼした一方で、中国では経済活動の本格的な再開により景気は持ち直しに転じました。

このような状況のもと、当社グループのエネルギーインフラ事業では、国内電力会社の設備投資抑制等によりがいの需要が減少しました。セラミックス事業においては、新型コロナウイルスの影響を受け世界の乗用車販売台数が落ち込み自動車関連製品の出荷が大幅に減少しました。エレクトロニクス事業では、ベリリウム銅展伸材やセラミックパッケージは市況悪化により物量が減少しました。プロセステクノロジー事業では、半導体メーカーの設備投資拡大を背景に半導体製造装置用製品の出荷が増加しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比23.5%減の830億30百万円となりました。利益につきましては、セラミックス事業の業績悪化の影響が大きく2億83百万円の営業損失（前年同期は営業利益162億円）、経常利益は同98.7%減の1億89百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億44百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益114億13百万円）となりました。

セグメント別には、エネルギーインフラ事業では売上高は前年同期比1.9%減の92億84百万円、営業損益は11億14百万円の営業損失（前年同期は12億85百万円の営業損失）、セラミックス事業では売上高は同42.0%減の373億46百万円、営業損益は26億87百万円の営業損失（前年同期は157億60百万円の営業利益）、エレクトロニクス事業では売上高は同10.0%減の127億27百万円、営業利益は同65.9%減の84百万円、プロセステクノロジー事業では売上高は同15.5%増の243億25百万円、営業利益は同132.6%増の34億29百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間より「電力関連事業」は「エネルギーインフラ事業」へ改称しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて5億25百万円減少の8,325億60百万円となりました。これは主として現金及び預金やたな卸資産が増加した一方で、受取手形及び売掛金、有価証券が減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて58億84百万円増加の3,698億51百万円となりました。これは主として未払法人税等や支払手形及び買掛金が減少した一方で、長期借入金が増加したことによるものです。

また、純資産合計は、利益剰余金が減少し、前連結会計年度末に比べ64億9百万円減少の4,627億9百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2020年6月11日に発表した業績予想を修正せず、据え置いております。通期業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定です。

なお業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	80,160	98,916
受取手形及び売掛金	101,377	84,138
有価証券	31,016	23,797
たな卸資産	157,389	165,957
その他	28,583	20,617
貸倒引当金	△153	△148
流動資産合計	398,374	393,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	106,886	108,379
機械装置及び運搬具（純額）	168,550	173,113
その他（純額）	83,970	82,623
有形固定資産合計	359,407	364,116
無形固定資産	3,460	3,951
投資その他の資産		
投資有価証券	49,996	50,815
その他	22,485	21,036
貸倒引当金	△639	△637
投資その他の資産合計	71,842	71,215
固定資産合計	434,710	439,282
資産合計	833,085	832,560

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,241	38,740
短期借入金	6,407	7,802
1年内返済予定の長期借入金	9,218	10,608
未払法人税等	※1 12,225	※1 5,341
N A S 電池安全対策引当金	1,657	1,553
競争法関連損失引当金	1,145	58
その他	40,393	37,256
流動負債合計	114,289	101,361
固定負債		
社債	25,000	25,900
長期借入金	193,773	212,205
退職給付に係る負債	21,012	21,107
その他	9,891	9,276
固定負債合計	249,677	268,489
負債合計	363,966	369,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	69,849	69,849
資本剰余金	70,199	70,194
利益剰余金	345,688	337,530
自己株式	△11,264	△11,244
株主資本合計	474,473	466,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,336	12,654
繰延ヘッジ損益	△461	△253
為替換算調整勘定	△21,390	△21,322
退職給付に係る調整累計額	△5,406	△5,027
その他の包括利益累計額合計	△15,921	△13,948
新株予約権	828	813
非支配株主持分	9,737	9,514
純資産合計	469,118	462,709
負債純資産合計	833,085	832,560

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	108,510	83,030
売上原価	73,525	66,794
売上総利益	34,985	16,235
販売費及び一般管理費	18,785	16,519
営業利益又は営業損失(△)	16,200	△283
営業外収益		
受取利息	134	54
受取配当金	674	557
為替差益	—	1,160
デリバティブ評価益	584	—
その他	327	410
営業外収益合計	1,721	2,182
営業外費用		
支払利息	724	826
持分法による投資損失	297	455
為替差損	760	—
デリバティブ評価損	—	150
その他	1,097	276
営業外費用合計	2,880	1,709
経常利益	15,040	189
特別利益		
固定資産売却益	37	8
投資有価証券売却益	10	106
補助金収入	—	315
特別利益合計	48	430
特別損失		
固定資産処分損	173	46
減損損失	149	—
特別損失合計	323	46
税金等調整前四半期純利益	14,766	574
法人税、住民税及び事業税	2,647	941
法人税等還付税額	△425	—
法人税等調整額	1,248	107
法人税等合計	3,470	1,049
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,295	△475
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△117	△231
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	11,413	△244

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,295	△475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,013	1,319
繰延ヘッジ損益	72	208
為替換算調整勘定	△7,037	98
退職給付に係る調整額	96	245
持分法適用会社に対する持分相当額	72	126
その他の包括利益合計	△8,809	1,999
四半期包括利益	2,486	1,523
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,714	1,728
非支配株主に係る四半期包括利益	△227	△204



### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(移転価格税制に基づく更正処分に対して提起した取消訴訟について)

当社は、2007年3月期から2010年3月期までの事業年度におけるポーランド子会社との取引に関し、2012年3月に名古屋国税局より移転価格税制に基づき受けた更正処分(追徴税額約62億円)につき、2016年12月に東京地方裁判所に対して取消訴訟を提起しており、現在も同裁判所において審理中です。

上記の更正処分に続き、当社は、2011年3月期から2015年3月期までの事業年度における上記ポーランド子会社との取引に関しても同様に、2017年6月に名古屋国税局より移転価格税制に基づく更正処分を受け、地方税を含めた追徴税額約85億円を納付いたしました。処分の取消しを求め、2018年7月に名古屋国税不服審判所へ審査請求を行い、2019年7月に当該処分を一部取り消す旨の裁決書を受領しておりました。しかしながら、この段階では法人税額・地方税額等約4億円の還付に止まったことから、当社としては全額が取り消されるべきと考え、2019年12月に東京地方裁判所に対し更正処分の取消訴訟を提起しました。

なお、2016年3月期以降の連結会計年度につきましては上記の経緯を踏まえ、同様の課税を受けるとした場合の税額を見積り、四半期連結財務諸表に反映しております。

(その他の注記事項)

(四半期連結貸借対照表関係)

#### ※1. 未払法人税等

ポーランド子会社と当社の取引に関し、2017年6月に移転価格税制に基づく更正処分の通知を受領したため、2016年3月期から各連結会計期間について同様の課税を受けるとした場合の見積税額を含んでおります。

#### 2. 偶発債務

当社グループは、競争状況に関して国際的な調査の対象となっております。2011年に当社の米国子会社が米国司法省より文書提出命令を受領し、当社は、自動車用触媒担体に関する当該調査に対し、2012年に独立委員会を設置するなど協力してきました。2015年9月には、当社は米国司法省との間で自動車用触媒担体の取引の一部に関して米国反トラスト法違反などがあったとして、罰金6,530万米ドルを支払うことを主な内容とする司法取引に合意し、2015年11月に全額を支払いました。また、関連する顧客とは損害賠償の交渉を行っており、一部では支払いを要するほか、民事訴訟(集団訴訟)も提起されております。

こうした進捗に鑑み、将来発生しうる損失について見積りを行い、当第1四半期連結会計期間末における見積額を「競争法関連損失引当金」として計上しておりますが、新たな事実が判明した場合には追加の損失が発生する可能性があります。なお、調査及び交渉の内容等については、当社グループの立場が不利になる可能性があるため、開示しておりません。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー インフラ 事業	セラミックス 事業	エレクトロ ニクス 事業	プロセス テクノロジー 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,460	64,404	14,146	20,499	108,510	—	108,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	3	1	554	567	△567	—
計	9,468	64,408	14,147	21,053	109,078	△567	108,510
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△1,285	15,760	247	1,474	16,197	2	16,200

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引の調整であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	エネルギー インフラ 事業	セラミックス 事業	エレクトロ ニクス 事業	プロセス テクノロジー 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,151	37,345	12,727	23,805	83,030	—	83,030
セグメント間の内部売上高 又は振替高	132	0	—	519	652	△652	—
計	9,284	37,346	12,727	24,325	83,682	△652	83,030
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△1,114	△2,687	84	3,429	△288	4	△283

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額4百万円は、セグメント間取引の調整であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「電力関連事業」と表示していた報告セグメントの名称について「エネルギーインフラ事業」に変更しております。この変更によるセグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。